

### 凡例

#### 【本梅川の浸水想定区域】

- 0. 5m未満の区域
- 0. 5～1. 0m未満の区域
- 1. 0～2. 0m未満の区域
- 2. 0～3. 0m未満の区域
- 3. 0～5. 0m未満の区域

#### 【土砂災害情報】

- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所

※ 京都府土砂災害警戒箇所点検マップから

#### 【防火設備】

- 消火栓
- 防火水槽

#### 【医療設備】

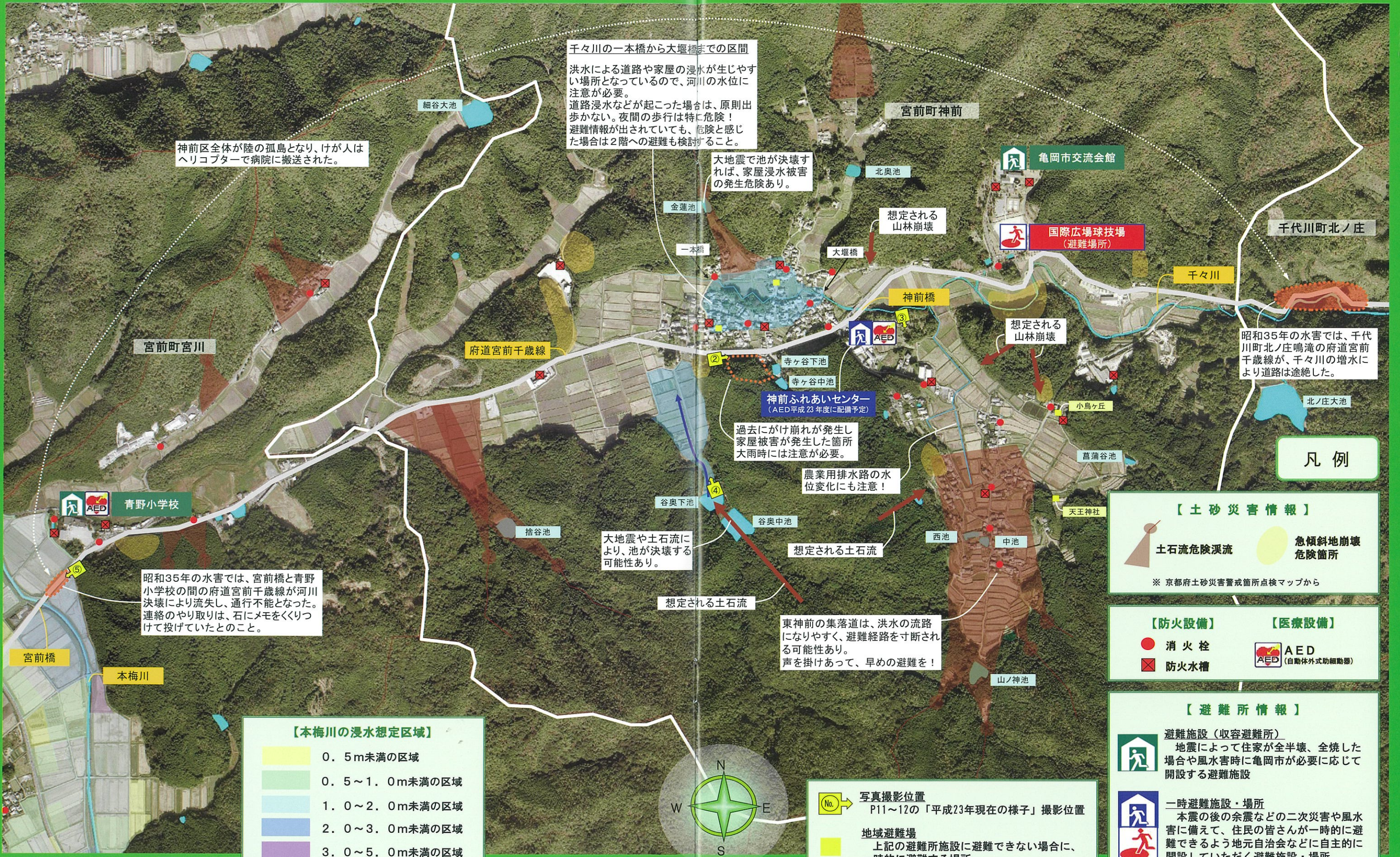
- AED (自動体外式心臓除動器)

#### 【避難所情報】

**避難施設 (収容避難所)**  
地震によって住家が全半壊、全焼した場合や風水害時に亀岡市が必要に応じて開設する避難施設

**一時避難施設・場所**  
本震の後の余震などの二次災害や風水害に備えて、住民の皆さんが一時的に避難できるよう地元自治会などに自主的に開設していただく避難施設・場所





神前区全体が陸の孤島となり、けが人はヘリコプターで病院に搬送された。

千々川の一本橋から大堰橋までの区間  
洪水による道路や家屋の浸水が生じやすい場所となっているので、河川の水位に注意が必要。  
道路浸水などが起こった場合は、原則歩かない。夜間の歩行は特に危険！  
避難情報が出されていても、危険と感じた場合は2階への避難も検討すること。

大地震で池が決壊すれば、家屋浸水被害の発生危険あり。

昭和35年の水害では、千代川町北ノ庄鳴滝の府道宮前千歳線が、千々川の増水により道路は途絶した。

昭和35年の水害では、宮前橋と青野小学校の間の府道宮前千歳線が河川決壊により流失し、通行不能となった。連絡のやり取りは、石にメモをくりつけて投げていたとのこと。

過去にがけ崩れが発生し家屋被害が発生した箇所大雨時には注意が必要。

農業用排水路の水位変化にも注意！

大地震や土石流により、池が決壊する可能性あり。

想定される土石流

東神前の集落道は、洪水の流路になりやすく、避難経路を寸断される可能性あり。  
声を掛けあって、早めの避難を！

**【本梅川の浸水想定区域】**

	0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～3.0m未満の区域
	3.0～5.0m未満の区域



**写真撮影位置**  
P11～12の「平成23年現在の様子」撮影位置

**地域避難場**  
上記の避難所施設に避難できない場合に、一時的に避難する場所

## 凡例

**【土砂災害情報】**

- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所

※ 京都府土砂災害警戒箇所点検マップから

**【防火設備】**

- 消火栓
- 防火水槽

**【医療設備】**

- AED (自動体外式心臓動脈)

**【避難所情報】**

**避難施設 (収容避難所)**  
地震によって住家が全半壊、全焼した場合や風水害時に亀岡市が必要に応じて開設する避難施設

**一時避難施設・場所**  
本震の後の余震などの二次災害や風水害に備えて、住民の皆さんが一時的に避難できるよう地元自治会などに自主的に開設していただく避難施設・場所





# 宮前町防災ハザードマップ 猪倉区

# Miyazaki-Town Hazard Map



## 凡例

**【防火設備】**

- 消火栓
- ☒ 防火水槽

**【医療設備】**

- AED (自動体外式心動器)

**【避難所情報】**

**避難施設(収容避難所)**  
地震によって住家が全半壊、全焼した場合や風水害時に亀岡市が必要に応じて開設する避難施設

**一時避難施設・場所**  
本震の後の余震などの二次災害や風水害に備えて、住民の皆さんが一時的に避難できるように地元自治会などに自主的に開設していただく避難施設・場所

**臨時避難場所**  
「避難施設(収容避難所)」だけでは避難者の収容が困難な場合に備え、施設管理者に対し提供を要請する避難場所

**【土砂災害情報】**

- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所

※ 京都府土砂災害警戒箇所点検マップから

**【本梅川の浸水想定区域】**

- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域

本梅川からの溢水(→)に注意！  
昭和35年の大雨では、実際に溢水した。

急傾斜地、大雨時には注意が必要！

山ノ神池が決壊した場合は、多くの家屋被害が発生する可能性あり。  
状況確認やいち早い避難、また、大雨時の夜間は2階で寝るなどの対策が必要。

大雨時には排水が追いつかない箇所

昭和28年の水害時には、がけ崩れにより池の水が溢れ、家屋に床下浸水が発生した。

土石流により、池の水が溢れる可能性あり。

大雨時に池の水が溢れる可能性あり。

急傾斜地、大雨時には注意が必要！







## 凡例

### 【本梅川の浸水想定区域】

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域

### 【土砂災害情報】

- 土石流危険渓流
  - 急傾斜地崩壊危険箇所
- ※ 京都府土砂災害警戒箇所点検マップから

### 【防火設備】

- 消火栓
- × 防火水槽

### 【医療設備】

- AED (自動体外式助動器)

### 【避難所情報】

- 避難施設 (収容避難所)**  
地震によって住家が全半壊、全焼した場合や風水害時に亀岡市が必要に応じて開設する避難施設
- 一時避難施設・場所**  
本震の後の余震などの二次災害や風水害に備えて、住民の皆さんが一時的に避難できるよう地元自治会などに自主的に開設していただく避難施設・場所
- 臨時避難場所**  
「避難施設 (収容避難所)」だけでは避難者の収容が困難な場合に備え、施設管理者に対し提供を要請する避難場所

国道372号

京都・畑河 (亀岡ハイツ)

府道天王亀岡線

猪倉大池

皿池

大雨時には、急傾斜地の崩壊に注意！  
夜間などは2階で寝るなどの対策が必要。

大雨時は側溝の排水が追いつかず、  
集会所周囲の側溝が溢れる。

湯の花平集会所

防火水槽  
平成23年度に設置予定

谷を盛り土した高さが10m程度  
ある。大雨の時には万が一に備  
えて2階で寝るなどの対策を！  
また、側溝から溢れた水が斜面  
を削っている。注意が必要。

【過去の災害】  
平成10年に大規模崩落が起こった。  
家屋への被害はなかったが、家屋の際ま  
で土砂が迫ってきたので、緊急的に近隣  
の宿泊施設に3日間避難をした。